

貧酸素水塊速報 (2022年)

【発行】○ 千葉県水産総合研究センター
神奈川県水産技術センター

千葉県農林水産技術会議
内湾底びき網研究会連合会

【協力】 千葉県環境研究センター
第三管区海上保安本部

東京都環境局
(国)国立環境研究所

○ モニタリングポスト(海上保安庁, 国土交通省 関東地方整備局)
(今回の速報は“○”の機関の観測データを使用して作成しました)

令和4年10月19日観測結果

貧酸素水塊は、内湾北東部に小規模分布していました(図1)。12日から北寄りの風が続いているため、北編したと考えられます。縦断ラインでの規模は、0.1%まで減少しています(図2)。

表層水温は19～21℃、底層水温は19～22℃でした。

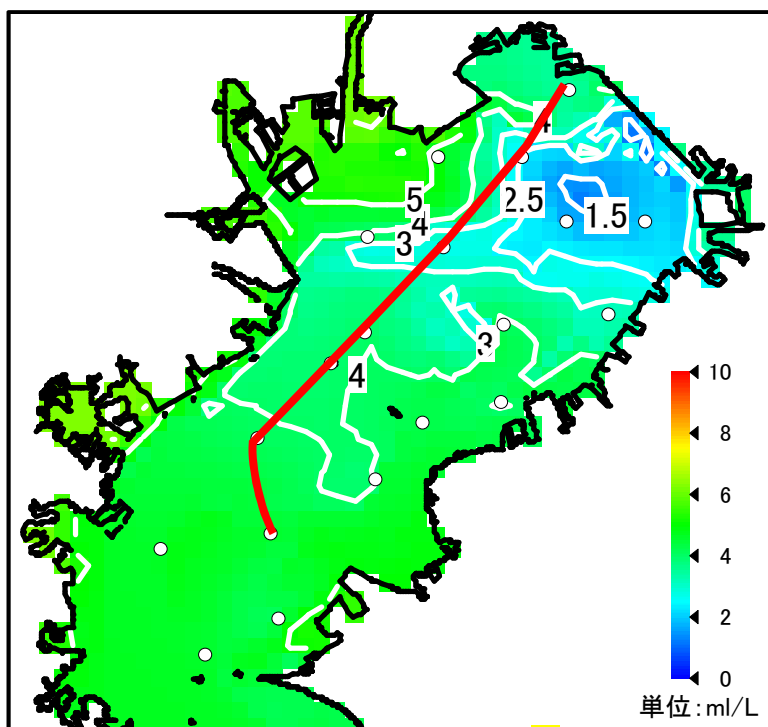


図1 底層の溶存酸素量分布(赤線は縦断ライン)

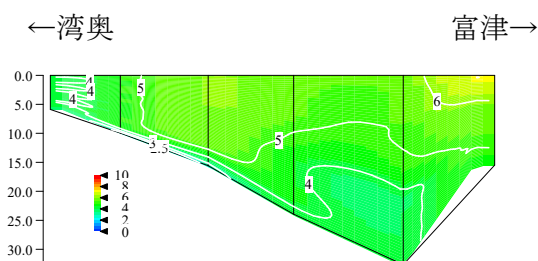


図2 縦断ラインでのDO鉛直分布

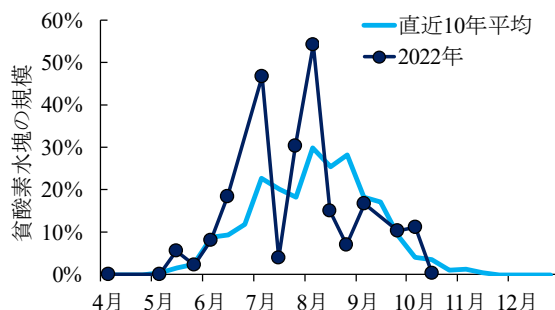


図3 貧酸素水塊の規模

(左図で貧酸素水塊(2.5ml/L以下)が占める割合)

酸素飽和度と溶存酸素量(DO)の目安		
酸素飽和度	溶存酸素量	備考
50%	2.5mL/L	貧酸素水塊
30～40%	2.0mL/L	魚類に影響
	1.5mL/L	貝類危険
	1.0mL/L	